

あなたとつなぐ

甲賀

市議会だより

KOKA city assembly report

令和4年(2022)05.01 vol.70



Contents

- 02 【特集】議発議案
- 04 【特集】新年度予算審議
- 08 3月定例会議案審議ピックアップ
- 11 常任委員会日誌
- 15 代表質問
- 18 一般質問／市の考えを問う
- 24 【シリーズあなたとつなぐ】国際交流協会

PHOTO [春の日のおもいで]

の決議案可決

2件提案し全会一致で可決しました



ロシアによるウクライナ侵略を 非難する決議について



(イメージ写真)

甲賀市議会は、3月3日の本会議において、「ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議」が提出され、全会一致で可決しました。

以下はその内容全文です。

ウクライナをめぐる情勢については、我が国を含む国際社会が緊張の緩和と事態の打開に向けて懸命な外交努力を続けてきたにも関わらず、ロシアは去る2月24日にウクライナへの侵攻を開始し、一般市民を含め多数の死傷者が出ている。

武力によるロシアの攻撃は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁じる国際法及び国連憲章の重大な違反である。ひいては我が国の平和と秩序、アジアを含む国際社会の秩序を根幹から揺るがしかねない深

刻な事態であり、断じて容認できない。

よって甲賀市議会は、ロシアによるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し、厳重に抗議の意を表し、強く非難するとともに、ロシア軍が即時に撤退するよう求める。

また政府におかれては、ウクライナの平和を取り戻すために、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと、厳格かつ適切な対応を講じられるよう、強く求める。以上、決議する。



(イメージ写真)

議会用語 ガイド

決議

議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的効果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のことをいいます。

「お茶の淹れ方講座」～おもてなし条例を活かして～

4月9日、議員主催で「お茶の淹れ方講座」が行われました。これは、平成27年3月、議員発議で制定した「甲賀市甲賀の茶及び甲賀の地酒を信楽焼の器でもてなす条例」を活かすために、何かできないかと、土山茶、朝宮茶の茶農家を営む2人の議員が、お茶文化の啓発活動として、急須で入れる美味しいお茶の淹れ方を知ってもらうため、職員や議員向けに開催したものです。



北田麗子議員と奥村則夫議員がお茶の栄養について講習。擬人化されたアミノ酸、カフェイン、カテキンにそれぞれ西村議員、中島議員、奥村議員が扮し、アミノ酸には甘みや旨味、カフェインには苦味や覚醒作用、カテキンには免疫力などがあるとわかりやすく楽しく解説。甘みや旨味を強く出すためには、ぬるめのお湯で出すことや熱いお湯だとカフェインが出て、苦味が強くなることなどの説明



議員発議

新型コロナウイルス感染症に係る すべての差別や偏見、誹謗中傷等の 根絶に関する決議について

新型コロナウイルスの感染拡大とともに、感染者だけでなく、その職場やご家族、濃厚接触者、治療にあたっている医療スタッフや介護従事者、海外から帰国された人、日本に居住する外国人などに対し、誹謗中傷やSNSなどへの心ない書き込み等が広がっています。一人一人の正しい理解と思いやりのある行動が大切です。新型コロナウイルス感染症に係るすべての差別や偏見、誹謗中傷等の根絶を目指し、以下の事項について決議しました。

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染者およびその家族に対する不当な差別・偏見・誹謗中傷を許さない。
- 2 医療や介護、福祉・教育など社会を支えるエッセンシャルワーカーと、その家族に対して敬意を払い、不当な差別・偏見・誹謗中傷を許さない。
- 3 ワクチン接種・非接種に拠る不当な差別・偏見・誹謗中傷を許さない。
- 4 新型コロナウイルス感染症に関する正しい理解を広げ、市民一丸となって人権侵害の防止に努める。
- 5 市行政関係者は個人情報に充分配慮しつつ、以上の点が行われるよう広報・啓発に努めるものとする。



お茶の刈り方や機械の動かし方の実演

おもてなしの心は「表裏なく、お客様に喜んでもらいたいという心」で、準備や器にも気配りがされ、美味しいお茶の淹れ方を講習していただき、「おもてなし条例」の心を感じる一日となりました。



信楽焼の器で飲むお茶

があり、いよいよ実践。茶葉を急須に入れ、湯呑みにお湯を注ぎ、湯呑みを温め、お湯を冷ま



す。その後、湯冷へお湯を入れてから急須へ注ぐ。器に入れるごとに10度ずつ下がるので、だいたい60度くらいで一煎目のお茶を淹れる。茶葉が広がるまでゆっくり1分間ほど待つてから、湯呑みに注ぎます。奥村議員から最後の一滴がゴールドンドロップと呼ばれ、とても美味しいと説明がありました。

集中審査 413億円

オール甲賀で未来につなぐ
「新しい豊かさ」へ未来への扉予算

3月14日から18日の5日間、予算決算常任委員会では、付託された一般会計予算案について、各所管別に審査を行い、討論採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

| | 予算額 (構成比%) | 概要 |
|--------|----------------------|-----------------|
| 民生費 | 148億 316万8千円 (35.9%) | 高齢者や子ども、障がい者の福祉 |
| 教育費 | 51億7,399万2千円 (12.5%) | 学校教育、文化・スポーツの振興 |
| 総務費 | 48億 179万7千円 (11.6%) | 地域情報基盤や地域コミュニティ |
| 衛生費 | 38億3,591万4千円 (9.3%) | 健康で衛生的な生活環境の推進 |
| 土木費 | 36億8,795万4千円 (8.9%) | 道路や公園などの公共施設の整備 |
| 農林水産業費 | 17億2,523万1千円 (4.2%) | 農業や林業の振興 |
| 消防費 | 15億2,178万9千円 (3.7%) | 消防団の運営、災害対策 |
| 商工費 | 6億9,091万9千円 (1.7%) | 商工業の振興 |
| 議会費 | 2億5,860万4千円 (0.6%) | 市議会の運営 |
| 労働費 | 1億7,204万5千円 (0.4%) | 労働者の福祉向上、就労支援 |
| 公債費 | 45億2,858万3千円 (11.0%) | 借りたお金の返済 |
| 災害復旧費 | 4千円 (0.0%) | 災害による被災復旧 |
| 予備費 | 1億円 (0.2%) | 緊急事態への対応 |
| 総額 | 413億円 | |

予算の特徴

令和4年度一般会計当初予算は、総額413億円。
対前年比16億4千万円の増で、率にして41%の増加。

「子育て・教育」

安心して出産・子育てができる環境をつくるため、電子母子手帳の導入、おむつ支給等の子育て支援、中学生までの医療費完全無料化、AIDリルの導入、放課後児童クラブにおける学習支援など。

「地域経済」

総合計画に掲げる目標人口の達成に向け、移住定住促進モデル事業、若者Uターン促進事業、地球温暖化対策実行計画の策定、J-ネット推進事業など。

「福祉・介護」

妊婦健診にかかる費用を全額補助するとともに、ごみ排出困難者支援事業、妊婦特別給付金事業、不妊等治療特別給付金事業など。

反対討論

新型コロナウイルスの検査は重要との認識を示しながら、検査の予算が反映されていない。市として積極的に取り組むべき。アウトソーシングなど民間委託が拡大している。市の仕事に対し職員が少ない。職員が市民にきちんと向き合う体制が必要である。行政のデジタル化を急速に進める予算であり、セキュリティや情報弱者への対応など多くの課題がある。

賛成討論

中学3年生まで医療費の完全無料化を大きく評価。地域経済分野では、カーボンニュートラル宣言、J-ネット推進事業、地球温暖化対策実行計画の策定、移住定住促進事業に期待。福祉介護の分野では妊婦健診にかかる費用の全額補助、新型コロナウイルス感染症から市民の健康と暮らしを守ることを最優先に、随所に新しい豊かさを追求する視点が反映された予算であること。

採決 賛成多数にて可決すべきものと決定

令和4年度 一般会計当初予算

子育て・教育に関する予算

甲南統合認定こども園

5,838万6千円

甲南地域の3園を統合し、新たな私立認定こども園の整備に着手する。

主な質疑

跡地利用について確認。

おむつ等支給子育て支援

1,871万1千円

1歳になるまでの育児用品の支給（月1回）に併せて、自宅訪問による見守り、相談を開始する。

主な質疑

システムの概要、委託先、得られる効果について確認。

夢の学習事業、 社会教育コーディネーター設置事業

4,820万円

各中央公民館に社会教育指導員を配置し、「夢の学習」と連携しながら地域における生涯学習を推進。また、地域マネージャーと連携し、地域の実情に応じた課題や教室等の開催を行う。

主な質疑

委託料の根拠、連携について確認。

放課後児童クラブ学習支援

169万円

家庭における学びを支援するため、児童クラブにおいて学習支援に取り組む。

主な質疑

学童保育の役割とAIドリルの導入の是非について確認。

若者Uターン促進事業

500万円

若者が市政に関わる機会を増やすとともに、30歳という人生の節目に甲賀市にゆかりのある同世代の若者がつながることで、就学や就労により市外に転出した若者層のUターンのきっかけづくりに取り組む。

主な質疑

業務委託、具体的な内容を確認。

電子母子手帳の導入

176万円

乳幼児健診等の子どもの成長記録や予防接種のスケジュール管理などアプリを導入する

主な質疑

スマホアプリの特徴や内容について確認。

地域防犯カメラ設置補助

600万円

地域自らが設置する防犯カメラの設置費用を補助する。

主な質疑

甲賀市の基本スタンス、今後の計画などを確認。



地域経済に関する予算

移住定住促進モデル事業

2,476万4千円

市外からの移住定住者を増加させるため甲賀市ならではの移住定住モデルを構築する。

主な質疑

移住コーディネイト業務委託と移住支援業務委託の内容を確認。

カーボンニュートラル推進事業

1,002万9千円

カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの導入目標を含めた地球温暖化対策実行計画（区域施策・事務事業）を策定する。

主な質疑

業務委託内容について確認。

空家等対策事業

1,561万7千円

地域住民の生活環境に影響を及ぼす空き家の除却の促進や、利用可能な空き家の活用を促進するため、行政指導や法律相談会、空き家バンクの運営等を行う。

主な質疑

管理不全空き家の予算拡充などを確認。

ウッドスタート宣言

87万5千円

甲賀市産材を活用した誕生祝品として「木製おもちゃ」をデザイン・制作する木育推進事業。

主な質疑

今後の取り組みの内容について確認。

女性による チャレンジショップ開催支援

90万円

民間施設を活用したお試し出店を支援する。

主な質疑

民間事業者との兼ね合いについて確認。

官民連携エリアリノベーション 手法検討業務

2,000万円

クリエイター等の短期・中期の滞在施設として、エリア内に点在する複数の遊休施設の活用を検討。信楽窯元散策路の整備など。

主な質疑

国の補助金による実施を確認。

貴生川駅周辺整備事業

2,045万9千円

貴生川駅周辺の地域拠点としての機能を強化するため、都市機能と居住の集積を推進する。また、都市再生、再開発の知見、ノウハウを持つ民間人材の登用を行い、推進体制を強化する。

主な質疑

負担金の内容について確認。



「鹿深夢の森」式典会場でのリハーサル風景

福祉・介護に関する予算

感染症の拡大防止

2億 3,990万 3千円

病院、福祉施設、保育園等における感染症対策を徹底するとともに、ワクチン接種を促進する。

主な質疑

市内感染状況とワクチン接種状況について確認。

信楽地域包括支援センター業務委託

2,829万 4千円

保健センターにおける高齢、子育て、障がい、困窮などの複合的な課題への対応を強化するため、包括支援センターの業務を民間に委託する。

主な質疑

現状の対応状況と業務委託による効果を確認。

重層的支援体制整備事業 アウトリーチ等事業

271万 5千円

長期にわたりひきこもりの状態にあるなど、自ら支援につながることが難しい人に、本人との関係性の構築にむけて支援する。

主な質疑

甲賀市における引きこもりの状況と委託業務内容を確認。

重層的支援体制整備事業 多機関協同事業

1,652万 2千円

支援関係機関等が受け止めた相談のうち、複雑化・複合化した支援ニーズを有する事例等に対して支援を行う。また事例全体の調整機能を果たすなどの役割を担う。

主な質疑

相談支援の連携について確認。

ごみ排出困難者支援

731万 6千円

ごみを排出することが困難な高齢者や障がいの世帯を支援する。

主な質疑

対象者と支援人数、見守り方法、今後の広がり等を確認。

高齢者に向けたデジタル活用支援

130万円

区・自治会、自治振興会等が開催するスマートフォン教室へ支援員を派遣する。

主な質疑

丁寧に分かりやすい説明、消費者被害対策などについて確認。

結婚支援事業

770万 7千円

結婚を希望する男女が、結婚への一歩を踏み出せるよう、結婚支援員による相談や様々な支援を行う。また、結婚された方の新生活を応援する。

主な質疑

事業の要件、補助内容について確認。



3 月定例会議案審議 (特別会計)

新型コロナウイルス感染症の第6波が収束を見せない中、3月定例会が2月17日から3月25日まで37日間の会期で開催されました。

令和4年度当初予算を始め、条例改正や契約、財産取得など市長提案34件を中心に活発な質疑とともに慎重に審議しました。

また会期中に発生したロシアによるウクライナ侵攻を受けて、ロシアに対する非難決議案を急遽、議員発議し、新型コロナウイルス感染症にまつわる決議とともに全会一致で議決しました。その他意見書案5件を審議、議決しました。

PICK UP 1

国民健康保険特別会計予算

国民皆保険制度を支える役割を担う制度。県と市が共同保険者として運営している。

主な質疑

Q 医療費の伸び率を10・6%としているが、3年度は2・03%であった。積算根拠はどうか。

A 3年度は新型コロナウイルス感染症による受診控えを考慮した積算であった。4年度は2年度を推計から除外し、元年度から3年度への推計としたもの。

Q 特定検診の受診勧奨は県のデータに基づく変更されたが、詳細を伺う。

A 3年度までは市が業者委託により未受診者の特性に合わせたデータを作成していたが、4年度においては同様のデータ作成を県が行

うことから、それを利用する。

Q 事業運営のための広域連合への納付金の変更点、積算根拠は。

A 令和2年度に策定され、4年度の変更はない。4年度は前年対比で2456万円減の予算。算定根拠は、広域連合の市町連携会議で示されるもの。

反対討論

未就学児の均等割の半額が公費負担となったところは評価できるが、均等割自体が大きな負担である。保険料の引き下げを求めるとともに、特定検診についても部局間連携により、効果的な予防に努める必要があることから反対。

賛成討論

医療給付費は増加するものの、保険料を据え置いたことやデータ活用への移行による事務の効率化を図っていることから賛成。

採決 賛成多数にて可決

PICK UP 2

後期高齢者医療特別会計

75歳以上及び65〜75歳未満の一定の障がいのある方を対象とする医療保険制度。滋賀県広域連合が保険者として、市はそれに基づく保険料徴収事務などを担う。

主な質疑

Q 保険料率が2年に一度の見直し時期であるが、どのように改定されたか。

A 被保険者数の増加はあるが、所得割は据え置き。均等割のみの増額となり、一人当たりの平均保険料は381円の増額。

反対討論

高齢者を切り離し、医療費を抑えようとする制度自体が問題。保険料は増加の一途を辿り、4年度も増額となっている。検診対象も削減されており、人間ドック助成も行う必要があることから反対。

賛成討論

保険料の軽減措置が所得に応じて行われている。フレイル予防など衛生費を一般会計から繰り入れるなど、市としての独自施策も評価できることから賛成。

採決 賛成多数にて可決

PICK UP 3

介護保険特別会計

高齢者が安心して、可能な限り住み慣れた地域で生活していけるよう、介護サービスを始め、予防や健康づくりを行うための保険制度。

主な質疑

Q 総合事業及び特定入所者介護サービス費が減少しているが、理由は何か。

A 総合事業では緩和型サービスは身体介護を伴わない生活援助のみであり、実績見込みにより計上。特定入所者介護サービス費は制度改正によるものである。

反対討論

介護サービスのニーズに応えられてはならず、現状では家族介護に頼る状態である。施設入所待機も依存として多い。またサービスの充実が保険料に跳ね返る制度になっていることから反対。

賛成討論

市独自の多段階による保険料区分により、所得に応じた保険料算定が行われており、4年度から取り組む重層的支援体制整備事業により、相談体制を更に高める計画になっていることから賛成。

採決 賛成多数にて可決

3 月定例会議案審議 (条例・補正予算その他)

PICK UP 4

条例改正

議案第11号
 附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定

国際化推進委員会を多文化共生推進委員会に変更。地域情報基盤のあり方審議会及び市民参画・協働検討委員会を追加するもの。

主な質疑

Q 委員構成は広く公募することも含めて重要であるが、選任方法は、

A 目的に合わせた選任とともに公募枠も検討する。
 Q 市の審議事項提起のみではなく、深い視点の議論が必要では。幅広くご審議いただき、審議会としての総意をまとめていただく。

討論・採決

討論はなく、全員賛成で可決



附属機関での会議

議案第16号

職員の給与に関する条例及び一般職の任期付き職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定

市職員の給与を人事院勧告に準拠して引き下げるもの。

反対討論

コロナ禍でご苦労いただいている職員の士気低下につながることを反対。

賛成討論

勤務条件が国家公務員や民間人と比べて、適切かどうかを常に考える義務が地方公共団体にある。情勢に適応した措置であり賛成。

採決 賛成多数にて可決

PICK UP 5

補正予算

議案第22号
 一般会計補正予算

国・県の補助採択に伴う事業追加や財源更生とともに入札差額や不用となった予算の減額等を行うもの。

主な質疑

Q 歳入の貸付金元利収入で、あい

コムこうかより4億円一括返済とすることであるが、説明を求める。

A 経営努力により、債務超過も解消できる見込み。新たな借入と自己資金により、同社からの申し入れによる一括返済。

Q 甲賀創健文化振興事業団への補助金1910万円の基準、交付金の活用のは非は。

A コロナの影響による減収を補填するもの。損失補填にあたることから臨時交付金の趣旨になじまず、一般財源で措置する。



事業団の運営する B&G プール

Q 小中学校の感染症対策費として875万円計上。検査キットの購入など検査費用としても利用すべきでは。

A 必要な物品の購入にあてて。交付要綱に基づくものであるため、検査キットには利用できない。

討論・採決

討論はなく、全員賛成で可決

その他の議案(抜粋)

全員賛成で可決

◆職員が妊娠、出産、育児等と仕事の両立支援により育児休業を取りやすくする改正。

◆議員の期末手当を人事院勧告に準拠して引き下げる改正。

◆中学校3年生までの通院医療費を全額助成するための改正。

◆市有財産の処分(甲賀町上野の旧上野教育集会所の隣接地及び遊具を上野区へ無償譲渡)



譲渡される上野区の公園

◆指定管理者の指定(野洲川児童公園の市営管理者に甲賀市スポーツ協会を指定するもの)

◆市道路線の認定(暁3号線・野田下浦10号線・長野川東線)

◆契約の締結(水口社会福祉センター改修工事を3億4980万円で迂宜建設と契約)

◆財産の所得(甲南認定こども園整備事業用地5711.71㎡を2456万円で購入するもの)

3月定例会議案審議・意見書

3月定例会議案等の審議結果

| 全員賛成で可決した議案 | | 条例の制定 | 甲賀市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について |
|---------------------------|---|------------------------------|-----------------------------------|
| 令和4年度予算 | 令和4年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算 | | 補正予算 |
| | 令和4年度甲賀市病院事業会計予算 | 令和3年度甲賀市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) | |
| | 令和4年度甲賀市水道事業会計予算 | 令和3年度甲賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | |
| | 令和4年度甲賀市診療所事業会計予算 | その他 | 財産の処分につき議決を求めることについて |
| | 令和4年度甲賀市介護老人保健施設事業会計予算 | | 指定管理者の指定につき議決を求めることについて |
| | 令和4年度甲賀市下水道事業会計予算 | | 指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて |
| 条例の制定 | 甲賀市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について | | 指定管理者の指定期間の変更につき議決を求めることについて |
| | 甲賀市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について | | 市道路線の認定につき議決を求めることについて |
| | 甲賀市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | 契約の締結につき議決を求めることについて |
| | 甲賀市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 財産の取得につき議決を求めることについて | |
| | 甲賀市特別職の職員の給与等に関する条例及び甲賀市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| | 甲賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| | 甲賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| | 甲賀市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について | | |
| 甲賀市消防団条例の一部を改正する条例の制定について | | | |

| 提案者 | | 全員賛成で可決した議案 | |
|-----|----|---|--|
| 決議 | 谷永 | 新型コロナウイルス感染症に係るすべての差別や偏見、誹謗中傷等の根絶に関する決議について | |
| | 戎脇 | ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議について | |
| 意見書 | 堀 | 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書の提出について | |

○：賛成 ●：反対

賛否の分かれた議案・意見書 議決結果

| 議案等の名称 | 提案者 | 討論 | | 凜風会 | | | | | | 誠翔会 | | | | | | 公明党 | | | 日本共産党 甲賀市議員団 | | | 北田 麗子 | 福井 進 | 糸目 仁樹 | 結果 | | | |
|---|-------|----|-----|---------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|---------|----------|----------|-----------------|----------|---------|----------|---------|----------|----|----------|----------|---|
| | | 反対 | 賛成 | 西田 忠 | 瀬古 幾司 | 西村 慧 | 林田 久充 | 橋本 恒典 | 谷永 兼二 | 田中 新人 | 橋本 律子 | 中島 裕介 | 奥村 則夫 | 小倉 剛 | 里見 淳 | 戎脇 浩 | 小河 文人 | 木村 真雄 | 堀 郁子 | 田中 將之 | 西山 実 | | | | | 岡田 重美 | 山岡 光広 | |
| 令和4年度甲賀市一般会計予算 | 市長 岡田 | | 里見 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 可 | |
| 令和4年度甲賀市国民健康保険特別会計予算 | 市長 山岡 | | 橋本律 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 令和4年度甲賀市後期高齢者医療特別会計予算 | 市長 山岡 | | 木村 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 令和4年度甲賀市介護保険特別会計予算 | 市長 山岡 | | 中島 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 甲賀市職員の給与に関する条例及び甲賀市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 市長 岡田 | | 谷永 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 日本政府に核兵器禁止条約の締結国会議にオブザーバー参加を求める意見書の提出について | 西山 | 瀬古 | 山岡 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 否 | |
| 文書通信交通滞在費の抜本的見直しを求める意見書の提出について | 岡田 | 堀 | 西山 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 否 | |
| 新型コロナ患者等を受け入れるための病床確保補助の継続を求める意見書の提出について | 山岡 | 戎脇 | 西村 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |
| 介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種拡大を求める意見書の提出について | 木村 | 岡田 | 堀 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可 |

※田中喜克議員は議長のため採決に加わらない

総務常任委員会 日誌

総合計画、財政、自治振興、危機管理等に関わる委員会です。



委員長 小河文人 副委員長 岡田重美 福井進・奥村則夫・瀬古幾司・西村慧・堀郁子・谷永兼二

- 1月21日
消防団の処遇改善について、自治振興会、区・自治会の整理に係る今後の方向性について、(株)あいコムこかの経営健全化に向けた取り組みの進捗状況等
- 2月7日
信楽文教ゾーンの土地利用について、公共施設利用料の見直し方針(案)について、投票所等の見直しについて
- 3月11日
付属機関設置条例の一部を改正する条例の制定、消防団条例の一部を改正する条例の制定、職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定、職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定等

所管事務調査

信楽文教ゾーンの土地利用について

信楽認定こども園と信楽小学校の一体的利用を図るため、こども園は小学校の既存プール跡地に、窯業試験場跡地は、駐車場として利用する計画です。

また、信楽小学校は、老朽化により優先的に対応の必要があることより、令和4年度より建築設計に着手されます。

主な質疑

Q 認定こども園の規模は。

A 将来再編となった場合にも対応できるように園児80〜100名規模としたい。

Q 小学校の規模は。

A 現在の児童数に応じた規模であるが、再編した場合に増築可能な構造や配置にする。

Q 小中一貫教育を見据えた施設となるのか。

A 一貫教育にも対応でき、連携が図れる施設配置を検討する。



投票所等の見直しについて

市内の投票所は、旧町のまま引き継ぎ、合併後も見直されていない状況であり、選挙事務の効率化・合理化と有権者の投票環境の向上を目指し、甲賀市投票区域編成審議会を設置して、見直しが検討されます。

主な質疑

Q 商業施設も検討するのか。

A 期日前投票も含め検討する。

Q 投票率が低下しないか。

A 先進事例では、共通投票所にするなど利便性が増し、投票率がアップした事例もある。

Q 審議会委員はどういう方を想定しているのか。

A 区長会長、ゆうゆうクラブなど各種団体長、明るい選挙推進協議会委員などを考えている。

| 現在の投票所数 | 見直し後の投票所数 |
|---------|-----------|
| 水口地域 30 | 水口地域 14 |
| 土山地域 9 | 土山地域 4 |
| 甲賀地域 16 | 甲賀地域 4 |
| 甲南地域 18 | 甲南地域 8 |
| 信楽地域 22 | 信楽地域 7 |
| 計 95 | 計 37 |

付託議案審査

消防団条例の一部を改正する条例制定(団員の年額報酬・出勤報酬の引上げ)

主な質疑

Q 出勤報酬において、時間管理はどうするのか。また、8時間以上となる場合は交代することだが、可能か。

A 現場指揮官が出勤時間を把握、報告する。また、8時間上限については、市消防団の取決め事項として周知する。

採決 全員賛成で可決すべきものと決定

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定(保育士等臨時手当として、本年2月に遡り一ヶ月9千円の範囲で支給)

主な質疑

Q いつまで実施の予定か。

A 令和5年3月まで国庫補助と地方交付税に基づき実施するが、以降は国の動向(人事院勧告等)を見て検討する。

採決 全員賛成で可決すべきものと決定

厚生文教常任委員会

日誌

市民の生活と福祉、医療介護、子育て、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。



委員長 田中新人 副委員長 戎脇浩 北田麗子・木村真雄・中島裕介・山岡光広・橋本律子

- 1月19日
第2次甲賀市総合計画案について、子育て支援センターの現状について、一時預かり保育事業について、第11次甲賀市交通安全計画の策定方針について等
- 2月9日
このつす園視察、信楽文教ゾーンの土地利用について、史跡紫香楽宮跡整備事業の経過について、子育て世帯特別給付金等の実施について、令和4年度国民健康保険税率の改正について、市と区・自治会の防犯灯の管理について等
- 3月9日
令和4年度介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、国民健康保険特別会計予算、病院事業会計予算、診療所事業会計予算等

所管事務調査

信楽文教ゾーンの土地利用について



駐車場予定地の信楽窯業試験場

主な質疑

Q 認定こども園や小学校の新築は、再編ではなく、長寿命化を前提としたものであることから、再編や今後の在り方を分けて議論すべきではないか。また、地域へも説明文書等の配慮が必要ではないか。

A 従来より総合計画実施計画において方向性を示してきたが、現施設の建替えであることを強調した上で丁寧な説明に努める。

Q 市道神輿道の交通量は今後増加するのではないか。こども園出入り口のカーブは危険。解消できないか。

A 2車線化、自歩道設置や直視できる構造にして安全性を高める。

現地視察

このつす園(水口東・岩上統合認定こども園)新築工事

2月9日に本委員会で、認定こども園「このつす園(水口町秋葉)」を視察しました。認定こども園とは、小学校就学前のこどもに教育と保育、そして保護者に対する子育て支援を提供する総合施設です。急ピッチで工事が進められ、4月に開園しました。



開園間近の「このつす園」

付託議案審査

令和4年度診療所事業会計予算について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、ワクチンの個別接種の実施やかかりつけ医として必要な医療サービスを行う予算。また、日曜診療の継続実施、老朽化による医療機器の更新整備を行い、市民の皆様が安心して日々過ごせる医療体制を整備し

て安定した診療を確保するものです。

主な質疑

Q みなくち診療所の日曜診療の状況と課題、および令和4年度診療体制について問う。

A 日曜診療開設の認知度がまだまだ低く、広報活動が重要である。また、医師を継続的に確保することが大きな課題である。

採決 全員賛成で可決すべきものと決定

報告事項

水口中央公民館周辺整備事業について

水口中央公民館は、昭和44年に建設され、老朽化が著しい状況です。そこで、旧水口体育館及び水口中央公民館を解体し、新たな施設整備を進め、有効な土地利用が図られます。新たな施設は、まちづくり拠点、防災拠点、公民館機能を併せ持つ複合施設としてのコミュニティセンターの整備が進められます。



コミュニティセンターに生まれ変わる水口公民館

産業建設常任委員会 日誌

産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境に関わる委員会です。



委員長 橋本恒典・副委員長 西田忠 西山実・糸目仁樹・小倉剛・里見淳・林田久充・田中将之

- 1月18日
道の駅あいの土山の活性化に向けた基本方針、忍者月間事業、第72回全国植樹祭、農業振興地域整備計画の策定、市道漆谷中山谷線災害復旧事業の完了、既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業(交通連携型)を活用した利用促進事業等
- 2月3日
甲賀北地区工業団地土地区画整理事業、甲南駅周辺整備事業について現地視察、甲賀市開発許可の基準等に関する条例の改正に伴う区域変更等
- 2月24日
道の駅あいの土山の活性化に向けた基本方針について協議
- 3月10日
令和4年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算等
- 3月29日
道の駅お茶の京都みなみやましろ村視察研修

所管事務調査

「道の駅あいの土山」の活性化に向けた基本方針について

道の駅あいの土山は、平成5年に「道の駅」に登録されて以来、多くの方に利用されてきましたが、建物の老朽化や社会情勢・利用者ニーズへの対応等、様々な課題を抱えており、さらに時代の要請でもある防災機能を備えるため、市では駐車場の拡張や老朽化した建物の建て替えを行うとともに、道の駅の運営体制の見直し及び強化を計画中です。



活性化が望まれる「道の駅 あいの土山」

甲賀北地区工業団地土地区画整理事業について

事業期間は平成31年3月着工、令和4年3月31日、今年度末で事業完了となりました。なお、4区画に対し4社が進出し、この事業の産業用地は完売となりました。



企業の進出が進む甲賀北工業団地

視察研修

道の駅お茶の京都みなみやましろ村

3月29日(火)視察研修を実施。委員会8名、市より5名が参加しました。「道の駅お茶の京都みなみやましろ村」は5年前のオープン以来、年間のレジ通過者が約40万人と大盛況でコロナ禍にもかかわらず年々売り上げを伸ばしている。

います。県境の幹線道路に接する立地、地元主要特産品がお茶であることなど

共通点多く今後の「道の駅あいの土山」活性化の参考となるものです。



現地での研修の様様

付託議案審査

令和4年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算について

基幹水利施設である野洲川ダム及び水口頭首工の施設を計画的に維持修繕していくことにより、農業用水を確保し、農業生産基盤の安定を図るものです。

主な質疑

Q 大規模改修で大きく予算が膨らんでいる。予測されていたのか。

A 基本的には淀川水系土地改良調査管理事務所による基本保全計画に基づき実施されているが、耐用年数に近づいておりその中で関係機関と協議をし、予算を計上している。

組合議会報告

甲賀広域行政組合議会

令和4年第1回定例会

(3月30日)

令和4年度予算案等4議案が上程、審査の上、1議案が賛成多数、3議案が全員賛成で可決しました。



行政組合3月議会の風景

令和3年度一般会計補正予算

(第5号)

既定の歳入歳出にそれぞれ4505万3千円を減額し、総額46億619万円。歳入の見込み及び歳出の契約の確定等による補正。

令和4年度一般会計予算

歳入歳出総額49億8230千円で、対前年度比1億9666千円の増額、対比は104・17%。衛生費で基幹的設備改良事業に係る工事請負費の増額が主な要因。

改良工事は、約16億4千万円、

市指定ごみ袋の製造、流通経費等に約5億9千万円、施設の維持補修に約1億2千万円。

消防費は、救急自動車、消防ポンプ自動車の更新に6850万円など16億8514万円。

組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

非常勤職員の育児休業等の取得要件の緩和及び育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置等を行うのが提案理由。

採決 以上3議案は、全員賛成にて可決

組合職員の給与に関する条例の一部改正する条例の制定について

人事院勧告に基づく給与改定が提案理由。

採決 賛成多数で可決

一般質問

西村慧議員から救急業務に使用する資器材の点検の徹底についてと、周囲の方々による適切な応急手当についての質問。

山岡光広議員から火災の発生と予防についての質問。

公立甲賀病院組合議会

令和4年第1回定例会

(3月30日)

令和4年度予算案、人事案件等4議案が上程、審査の上、可決しました。

公立甲賀病院組合監査委員の選任につき同意を求めることについて

選任者 辻 恵子氏

令和3年度一般会計補正予算

(第1号)

整備した医療機器の入札差額の減額など、合計1681万の減額補正。

整備された「オンライン資格確認システム」についての質疑があり、マイナンバーカードを保険証として利用するための読み取り機の設置との答弁。

令和4年度一般会計予算

病院運営のための甲賀・湖南2市からの負担金約6億6千万円や職員共済費、医療機器整備のための地方債などの歳入歳出予算。予算総額は約17億7千万円。

前年対比での差額や照明のLED化事業についての質疑があり、

機器整備や職員退職金の差があること。またLEDを100%にする予定との答弁。



令和4年度更新予定の機器「超音波白内障手術装置」

公立甲賀病院組合議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

議会への多様な人材の参画の促進を図るため、出産等にまつわる期間の欠席理由の明文化や押印の廃止、携帯品の文言整理などの改正を議員発議により改正するもの。

採決 4議案ともに、質疑の後、全員賛成にて可決

各会派による 代表質問

目次

令和4年3月1日

令和4年 第1回甲賀市議会定例会代表質問

| 順番 | 氏名 (会派名) | 質問事項 |
|----|---------------------------------------|---|
| 1 | えびす わき ひろし 戎 脇 浩 (誠 翔 会) | 1 令和4年度予算編成方針が、どのように反映されたか 2 教育分野全般に渡り、その重要課題をどのように進めるか 3 新型コロナウイルス感染症についての課題について |
| 2 | おか だ しげ み 岡 田 重 美 (日本共産党甲賀市議員団) | 1 市民のいのちと暮らしを守る立場から国政の焦点と市長の政治姿勢について 2 新型コロナ感染防止対策について 3 岩永市政の評価と課題について 4 新年度予算について いのち暮らしを守る予算を |
| 3 | ほり いく こ 堀 郁 子 (公明党) | 1 甲賀市のコロナ克服対策について 2 子育て・教育支援について 3 女性活躍について 4 障がい者政策について 5 気候変動に対する市の取り組みについて 6 防災・減災の取り組みについて 7 コミュニティセンターの活用について |
| 4 | はやし だ ひさ みつ 林 田 久 充 (凜 風 会) | 1 国と地方の関係および新たな戦略策定について 2 第二次甲賀市総合計画について 3 新型コロナウイルス感染対策の取り組みと医療体制について 4 施政方針によるキーワードについて 5 凜風会政策要望関連について 6 市長政策集(お約束)について |

■答弁者の凡例

| | | | | | |
|------------|-------|---------|------|---------|------|
| 総合政策部理事 | 総政理事 | こども政策部長 | こ政部長 | 産業経済部長 | 産経部長 |
| 健康福祉部長 | 健福部長 | 総合政策部長 | 総政部長 | 産業経済部理事 | 産経理事 |
| 危機・安全管理統括監 | 危機統括監 | 市民環境部長 | 市環部長 | | |



カーボンニュートラル

産業活動で排出される温室効果ガスの排出量から、森林等からの吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすること。

ヤングケアラー

家族にケアが必要な人がいる場合、本来大人が担うような、家事や家族の世話・介護などを日常的に行っている子どものこと。

DX

デジタルトランスフォーメーションを省略した言葉で、デジタル技術により人々の生活そのものがより良いものへと変革させること。IT化はデジタル技術での効率化を示すのに対し、DXとは生活が変わっていくことを示します。スマホで支払いができることにより、現金を持たなくてよくなるのが良い例です。

デジタル田園都市国家構想

国の政策の1つで、どこにいても大都市並みの働き方や質の高い生活を可能にするため、地方を中心にしたデジタルインフラなどの共通基盤の整備等を進めていくこと。

エッセンシャルワーカー

社会生活をするうえで必要不可欠なライフラインを維持する仕事の従事者のことをいいます。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、感染リスクと戦いながら働き続ける人々への感謝と敬意をこめて、こう呼ばれるようになりました。

69号の訂正とお詫び

以下の通り誤りがありました。訂正してお詫びいたします。
P12 一般質問 橋本律子議員 質問項目の誤り
誤1 甲賀市まちづくり基本条例の見直し等について
2 貴生川駅周辺特区構想の戦略ビジョンづくりについて
正1 よりよい生活環境目指し、空き地管理を問う
2 学校教育の検証と充実について

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

誠翔会
戒脇 浩



日本共産党
岡田 重美



Q 予算編成方針をどう反映させるか

A 新しい豊かさによるまちづくりへ

Q 市長 4年間の任期の中で結果を出す必要がある。2期目の2年度目の予算編成の位置づけは。

市長 コロナ禍による変化を先進的な取り組みに着手する絶好の機会ととらえ、「未来への扉」を開く予算と位置付けている。

Q 中長期財政計画では、令和10年度までに約59億円の財源不足とされ、看過できない。対策は。

市長 「歳入に見合った歳出」の計上とともに、約4億円の経費削減をする。

Q カーボンニュートラルの取り組みにおいて、「誠翔会」では、保育幼稚園・学校の整備にあたり木造建築を求めているが、見解を伺う。

市長 植樹祭を機に地域産材の利用促進を図り、積極的に木造建築の検討を進める。

Q 国・県の補助金活用を進める必要がある。「誠翔会」と国会議員との懇談会の中で、国との事前相談の重要性を認識した。対応は。

市長 常々、国・県との良好な関係作りと情報収集の重要性を指示している。自らの積極的要望とともに、担当職員が事前相談を活用し、新たな補助金獲得を図る。

Q 予算編成方針は執行時にも念頭に置くべきではないか。

市長 予算執行にあたり、全職員が念頭に置くべきだと認識し、予算執行方針に変換したうえで、全職員に周知している。



新たに獲得を目指す「デジタル田園都市国家構想推進交付金」概要

Q 気候非常事態宣言の時期は

A 4年度最も効果的な時期に行なう

Q 地球温暖化による気候危機打開は待ったなしの課題。気候非常事態宣言の時期はいつ頃か。

市長 令和4年度の最も効果的な時期に、仮称「カーボニュートラルシティ宣言」を行う。

Q ウクライナ情勢について所見を伺う。

市長 今世紀最悪の軍事行動であり、人類の汚点として歴史に刻まれるものであるとし、強く非難する。

Q オミクロン株による感染が急



環境省の2100年未来の天気予報

健康部長 対策の重要性は認識するが、検査の実施は県が一元的・総合的に検査体制を整備するもの。

Q 出生数の減少が著しい。子育て施策を充実させ、安心して子どもを生み育てる環境整備を行い、人口を増やす取り組みが必要ではないか。

市長 子育て世代のニーズは年々変化する。あらゆる方面からの取り組みによるまちづくりを行うことで人口増加につながると考える。

Q 幼保・小中学校再編計画は、周辺地域の過疎化を進め、少子化対策・地域活性化に逆行するものではないか。

市長 再編による地域の不安の解消策を見出すため、総合教育会議などで議論を深めながら進めていくことが大切と考える。



代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

公明党
堀 郁子



Q 社会的弱者のリスクへの対応は
A 重層的支援体制で実施する

Q コロナ克服対策では、5〜11歳接種への丁寧な説明と接種者への給料加算、経済対策は介護士の処遇改善加算申請が難しいので補助を。社会的弱者のリスクは大きい。社会で連帯して乗り越えるための支援を。子育て教育支援では、高校卒業同等までの医療費無償化を。タブレットの活用は、不登校支援に活かしているか。校内フリースクールは、障がいのある子どもと共に学べるインクルーシブ教育は人間力を育てると考えるがいかがか。ヤングケアラーへの支援の取り組みは。校内の女子トイレに生理用品の設置を。虐待、性被害防止の取り組み、里親支援、児童養護施設の連携は。現在こそ地球大の連帯意識を育む世界市民教育が重要と考える。市の考えを伺う。女性活躍では、デジタ

ル人材の育成を求める。個別計画を地域マネージャーと共に作成推進を。

市長 コロナ克服対策は検討し努める。社会的弱者へは重層的支援体制で実施。子育て教育支援は中学卒業まで医療費無償化を実行。ヤングケアラーは調査結果をもとに取り組む。インクルーシブ教育の理念に基づき施策を進める。虐待や性被害の防止は丁寧で迅速に対応。里親支援は児童養護施設と連携している。デジタル人材育成はキャリア形成につながるので取り組み。個別計画も取り組む。

教育長 タブレット活用は学校間で差が出ないよう指導と支援をする。不登校支援に民間フリースクールの利用補助を行う。



凜風会
林田 久充



Q 地方分権は進んだと考えているか
A まだ十分とは言えないと感じている

Q 地方分権一括法が制定されて20年が過ぎた。国と地方の関係は格段に進んだと考えているか。

市長 自立した地方をつくるという面においては、地方の意見が国、県にも反映されてきている。しかし、コロナ禍にあつて一連の対応や臨時交付金の運用等においても制限や規制があり、また前例の無い政策等を具体化しようとする、地域の独自性が発揮できないなど、まだまだ十分とは言えないと感じている。引き続き住民の声を聞き、考えを国に提案していくことが肝要と考える。

Q 第33次地方制度調査会が今年設置されたが、どのような議論、法改正を期待しているか。

市長 岸田総理は、「社会全体におけるDXの進展および新型コロナウイルス感染症対応の課題を踏

まえ、ポストコロナの経済社会に的確に対応する観点から、国と地方公共団体の関係等やその他地方制度の在り方」を諮問された。このことから、地域の未来像についての議論、地方行政のデジタル化や「公、共、私」の対応等必要な法制化等が示されることを期待している。

Q 新たな戦略として国のデジタル田園都市国家構想をどう考えるか。

市長 様々な施策が創設されていることから、可能な限り有効に活用したい。



第33次地方制度調査会第1回総会の様子 (首相官邸 HP より)

16人の議員が市の考えを問う

令和4年
3月4日・7日・8日

目次

令和4年 第1回甲賀市議会定例会一般質問（通告順）

| 順番 | 氏名 | 質問事項 | 順番 | 氏名 | 質問事項 |
|----|-------|---|----|--------|--|
| 1 | 糸目 仁樹 | 1 ワクチン非接種者差別防止条例の制定を 2 陸上養殖を道の駅の目玉に 3 公共交通試乗会の定期開催を | 9 | 福井 すすむ | 1 市民参加・協働のまちづくりの推進でくらし続けたい『甲賀市』を！～前回の答弁を踏まえて～ 2 コロナ禍での経験をいかして、これからの『まちづくり・学校づくり』を！ |
| 2 | 小河 文人 | 1 甲賀市ブランド事業について 2 スカーレット記念館構想と窯元散策路の整備について | 10 | 田中 将之 | 1 脱炭素社会に向けて1 「新国富指標」という考え方から 2 脱炭素社会に向けて2 プラスティックにかかる資源循環 3 脱炭素社会に向けて3 市内産業における取り組みは |
| 3 | 小倉 剛 | 1 遊休農地に対する今後の政策について 2 ふるさと納税について 3 小中学校の自転車安全教育について | 11 | 西村 けい | 1 若者の政策アイデアの事業化について 2 中長期財政計画における財政調整基金残高見込みについて 3 公有財産の利活用について |
| 4 | 木村 眞雄 | 1 学校用務員の勤務時間削減について 2 成人年齢の18歳引き下げについて 3 市政に関する意識調査結果(特に甲賀市の住みやすさ、住みにくさ)から見える現状と今後の取り組みについて | 12 | 西田 まこと | 1 『忍者』を甲賀市民全体のアイデンティティに…。 2 甲賀市の土産物について |
| 5 | 西山 実 | 1 甲賀市空き家対策とりわけ特定空き家の問題について 2 高齢者に向けた市の施策について、補聴器の補助制度の新設を 3 貴生川地域の市道新町貴生川幹線の歩道の整備ならびに、側溝の安全対策について 4 コミバス・コミタクの運行について | 13 | 瀬古 幾司 | 1 道路環境美化について 2 小中教育にもっと地域理解を深める取り組みを。 |
| 6 | 山岡 光広 | 1 学童保育支援員・保育士等の処遇改善について 2 小規模保育所の役割と改善について 3 自治振興会と区及び自治会の今後のあり方について 4 所有者不明の土地・道路の課題について 5 第六次学校図書整備五カ年計画、甲賀市としての具体化について | 14 | 北田 麗子 | 1 一時預かり保育事業及び土曜日保育について 2 小原・朝宮・多羅尾小学校 三校合併の実現を |
| 7 | 奥村 則夫 | 1 公共施設の最適化計画の中の文化施設について 2 道の駅あいの土山について 3 甲賀市役所の敷地利用による飲食事業者等支援事業について | 15 | 里見 淳 | 1 史跡紫香楽宮跡整備事業について 2 コミュニティーセンターについて 3 国道307号線、紫香楽宮跡駅前横断歩道への信号設置について |
| 8 | 田中 新人 | 1 農業における地球温暖化対策について 2 通学路の通行規制の設定について | 16 | 中島 裕介 | 1 「甲賀市のデジタル化」に向けて 2 「甲賀市道路整備基本計画の見直し」に向けて 3 「甲賀市地域産業振興条例の認識」について |

今後、ワクチン非接種者への風評被害や差別的な取り扱い等が決して起きないよう、人権教育・人権啓発に積極的に取り組む。



滋賀県の出すワクチンハラスメント防止メッセージ



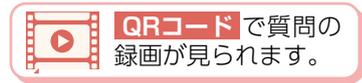
市長 昨年10月、「甲賀市人権に関する総合計画」を改訂、ワクチン接種案内状、ワクチン接種会場での私のメッセージやチラシ、広報紙、市ホームページ、行政放送番組等を通じて啓発に努めている。

ワクチン検査パッケージのように、コロナワクチン未接種者への差別が全国的に広がっている。接種後の死亡事例や後遺症事例から来る不安を持つ市民、健康上接種を止められている市民が一定数いる。こうした差別を防ぐための条例制定が必要と考えるが、市長の認識と市の対応は。

Q ワクチン未接種者差別防止条例を
A 不当な差別が無いよう啓発する

糸目 仁樹
無所属





一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

小河 文人
誠 翔 会



Q 高品質事業の成果と今後の課題は
A 甲賀の茶ブランドディングを進める

Q 甲賀の茶をブランド化するべきでは。

産経部長 ブランド

の確立は、消費者の認知度を高め、平均単価の向上につながる。「土山のほうじ茶」は今年9月に、「朝宮」は令和5年度からブランド化の取り組みを開始する。



関西茶業振興大会に向けて一芯二葉で丁寧に手摘み

Q 11月甲賀市で開催される「関西茶業振興大会」に何を求めるのか。

産経理事

甲賀茶の知名度向上と消費促進である。

Q スカレット記念館構想と窯元散策路の整備を促進させるべきだと考えるが、どうか。

産経部長

散策路内の再構築を位置付け、空き家・窯元の空き工場の活用を、官民連携による調査費業務と併せ、下水道整備による道路復旧と合わせたカラー舗装化・公衆トイレの設置、「スカレット」の足跡を伝えるためにも、窯元散策路内に記念館計画策定を令和4年度当初予算案に計上し、検討していく。

小倉 剛
誠 翔 会



Q ふるさと納税について
A 本市の魅力为全国に発信する

Q 市内ゴルフ場に、ふるさと納税自動販売機を導入してはどうか。

総政部長

市内には24ヶ所と全国自治体の中でも3番目に多く有り令和2年度には97万人の方が本市のゴルフ場を利用いただいております。額の増加でなく観光振興にもつながると考え、本市独特の特色ある取り組みについて研究を進めていく。

Q 農業振興地域での遊休農地に対する支援策は。

産経理事

景観作物の作付けへの助成や自走式草刈り機の貸し出し。また、遊休農地発生防止のために省力化による新しい農業の姿を創出するためスマート農業の一環として、



遊休農地の今後は

リモコン草刈り機の普及推進を図っている。

産経理事

地球温暖化防止にもつながる取り組みであることから先進事例について調査研究する。

木村 眞雄
公 明 党



Q 用務員の勤務時間弾力的運用を
A 時間外勤務による対応を検討する

Q 夏季の除草作業の実態から、この時期における学校用務員の勤務時間の延長対策等、弾力的な運用は取れないか。

教育部長

学校の立地条件や敷地面積によって作業量が大きく異なることから、一律の時間延長はできないが、必要と判断した場合は、時間外勤務等に対応することを検討する。

Q 成人年齢引き下げに関わって、「キャッシュレス消費」について学習機会の提供を。

教育長

子どもたちに対する消費者教育の重要度は増している。小中学校の段階から実践的な教育を推進することが大切である。市消費生活センターによる消費者教育が行われており、これらの機会を活用して、消費者教育に関する学習の場を設定することは、時代のニーズに相應する取り組みであると考えている。

| 18歳(成年)になったらできること | 20歳にならないとできないこと(これまでと変わらないこと) |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 親の同意がなくても契約できる 携帯電話の契約 ローンを利用 クレジットカードをつくる 一人暮らしの部屋を借りる など 10年有効のパスポートを取得する 公認会計士や司法書士、医師免許、薬剤師免許などの国家資格を取る 結婚 <ul style="list-style-type: none"> 女性の結婚可能年齢が16歳から18歳に引き上げられ、男女とも18歳に。 性同一性障害の人が性別の取扱いの変更審判を受けられる <p>※普通自動車免許の取得は従来と同様、「18歳以上」で取得可能</p> | <ul style="list-style-type: none"> 飲酒をする 喫煙をする 競馬、競輪、オートレース、競艇の投資券(馬券など)を買う 養子を迎える 大型・中型自動車運転免許の取得 |

18歳成年でできること(政府広報より)

公職選挙法メモ

選挙区内の議員に対し、寄付を出すように勧誘や要求をすることは禁止されています。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

西山 実
日本共産党

Q 管理不全の空き家の対策強化を
A 除却の補助金の予算を拡充する

Q 市内において管理されない空き家が増え、倒壊の危険、景観を著しく損なっている。甲賀市空家等対策計画に沿って市の対策の強化を。

建設部長 管理不全

の空き家は約320件、空き家所有者に指導・助言を実施。

管理不全の空き家を増やさない予防施策が重要であり、専門家による相談会や出前講座、空き家所有者への広報、除却に

関する予算の拡充など、効果的な施策を進める。

Q 加齢性難聴、市独自の補聴器の補助制度を。

健康福祉部長 補聴器の普及は必要。国に対し難聴高齢者への支援について、強く要望している。

Q 旧国道307号東内貴から貴生川交差点付近の歩道の整備ならびに、側溝の安全対策を。

建設部長 水路の側溝は、安全対策が必要であり、暗渠にする等の対策を検討する。

Q コミュニティバスの増便、バス停の増設を。

建設部長 利便性の向上と運行の効率化を図るため、路線網の見直しを検討する。



長年放置され草木が繁茂した空き家

山岡 光広
日本共産党

Q 学童保育・保育士の処遇改善を
A フル・パート全員を対象に引上げ

Q 学童保育の支援員及び保育士の処遇改善。正規だけでなくパート等も対象に、ガイドラインに明記すべき。

こ政部長 月額9千円の加算は、フルタイム

だけでなく、パートや補助員等も対象とし、ガイドラインに明記する。

Q 保育園のクラス担任は正規で対応を。

こ政部長 令和3年度は9名が会計年度任用職員であったが、4年度は正規で対応。

Q 行政区設置規則に自治振興会をどう位置づけるのか。

総政部長 (現在は「区」が行政区となっているが) 今後は自治振興会エリアを行政区と位置づける方向で検討。

Q 甲南・希望ヶ丘の所有者不明土地と隣接する市道の雨水排水処理を。

建設部長 私道を市

が改修することはできないが、市道の排水の流末処理は、市が整備する必要があると考えている。



問題の雨水の排水路 (希望ヶ丘)

奥村 則夫
誠 翔 会

Q 道の駅あいの土山改修後の目標は
A 土山地域から甲賀市全体の活性を

Q 道の駅の役割の中で地域振興の対応と改善策は。

産経部長 現在の

の好立地を生かして、土山地域のみならず、観光情報

の発信・案内機能の向上や、市内

特産品のアンテナショップ機能や体

験メニューなどを揃えて、本市の東の玄関口としての役割を担い、市全体の発展に寄与する。

Q 採算性がとれる施設・人気で魅力ある施設にするためのターゲットと戦略は。

産経部長 既存の顧客に加え、地元市民の利用促進と、女性を意識したカフェメニュー等の開発、収穫体験や散策等、また地場産品や地元食材を利用したメニューの充実をしていきたい。

Q 新名神高速道路土山SAにスマートインターをつけ、道の駅へのアクセスを向上しては。

建設部長 案内看板も含めて調査・研究していく。



道の駅あいの土山



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

田中 新人
凜 風 会



Q 農業における地球温暖化対策は
A 中干し期間延長でメタン発生抑制

Q 中干し期間を慣行から一週間程度延長することでメタンの発生量を低減できるか。

産経理事 独立行政法人「農業環境技術研究所」の実証実験では、中干し期間を一週間程度延長した場合に、従来の期間での中干しと比較して、平均3割程度メタンの減少が確認されている。

Q 農林水産省の環境保全型農業直接支払交付金の長期中干しの支援は盛り込まれているか。

産経理事 令和2年度より全国共通の取り組みとして「長期中干し」が盛り込まれている。

Q 水田メタン発生抑制対策の実施状況は。

産経理事 温室効果ガス削減に効果的な「堆肥の施用」は今年度117ヘクタール取り組んだ。

Q 市道北脇地先の通学路速度規制の延長設定を。

市環部長 甲賀警察署に確認したところ、本道路においては、幅員が狭く速度を出せる道路状況ではなく速度規制の延長はできない。



北脇地先30km/h速度規制解除標識

福井 進
無 所 属



Q 市民参加・協働でまちづくりを
A 地域と連携し、協働して進める

Q 自治振興によるまちづくりについて。

総政部長 地域のみなさんと連携、協働しながら進める。

Q 甲賀の財産「ボランティア」の支援は。

健福部長 側面的なサポートを実施する。

Q 「自主運行事業」等による、交通不便地の通学支援について。

建設部長 活用の周知を進める。

Q 高校生の声を聴き、安心・安全な通学路を。

市環部長 意見聴取を検討したい。

Q 若者参加でまちづくりを。

総政部長 若者のアイデアをまちづくりに活かす。

Q コロナ禍での経験を活かした教育の推進を。

教育長 命を第一に、精一杯教育の推進に務める。

市長 予算をしっかりと確保し、連携して速やかに対応する。



明るくなった通学路(深川一宝木間)

田中 将之
公 明 党



Q カーボンクレジットの取り組みを
A 4年度に認証手続きを進める

Q 近年、気候変動によって引き起こされる「想定外」の激甚災害が頻発している。昨年11月、イギリス・グラスゴーで開かれたCOP26では世界の平均気温上昇を産業革命前から1.5℃に抑えるという目標が決定された。ここで重要な点は、これまで経済成長を求めた傍らで見落とされてきた「自然資本」について、気候変動解決対応策と同時に生物多様性の保全にも目を向けることが重要であると指摘されたということである。森林や農地は二酸化炭素を吸収するが、その「削減量の売買の仕組み」を「カーボンクレジット」と呼ばれ、いま、民間どうしの取引が活発化しているが市としての取り組みはどうか。

市環部長 4年度に市有林の森林管理により生み出せるクレジットの認証手続きを進める。今後、クレジットの販売による収入を活用しより適正な森林管理に努める。



カーボンニュートラルのイメージ

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。

西村 慧
凜風会



Q 若者アイデア事業化想定フローは必要に応じてR5年度予算へ反映

Q (仮称)若者条例・若者議会条例の制定は。

総務部長 若者参画の実効性を少なからず担保する機能があると認識。今後、研究していく。

Q 財政調整基金の役割と妥当と考える金額は。

総務部長 不測の事態に備えるとともに、年度間の財源不均衡を調整するものであり、標準財政規模の10%程度である約25億円が妥当。

Q 中長期財政計画の合計18億円取り崩し(R10年度残高:13億円)についての所見は。

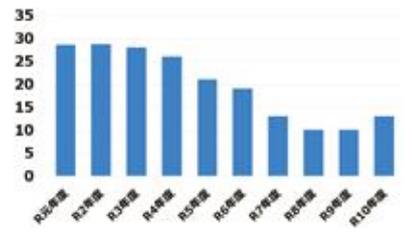
総務部長 将来リスクを最大限に考慮したものが、適宜見直し、健全な財政運営に努める。

Q 保育・教育施設の跡地活用等検討の仕組みは。

総務部長 地元の意向を伺い、進めているが、統一的な検討の仕組みはない。

Q 跡地活用等の庁内における旗振り役が必要では。

総務部長 所掌事務を明確に位置づけた上で、マネジメント推進室(総務部)が担っていく。



【中長期財政計画】財政調整基金残高見込み (単位: 億円)

西田 忠
凜風会



Q 市における土産物開発について市として出来る限り支援する

Q これまでの地域特産品開発事業の評価は。

産経部長 平成16年度から令和元年度までに46件の地域特産品開発に活用いただいた。市内事業者への支援はもとより、地域経済の好循環にも寄与できたものと考えている。

Q 土産物開発における幅広い補助の検討を。

産経部長 本年度からクラウドファンディングにより資金調達した際の手数料の「4分の3」を補助する制度に改正し、間接的ではあるがより幅広い支援が可能となっている。

Q 「道の駅あいの土山」のリニューアルに合わせ甲賀市に相応しい土産物開発を進めては。

市長 本市の事業者において「買いに行きたい」と考える土産物の開発に向けたチャレンジを進めていきたいと考えており、地域の農業振興につながる土産物になることを期待し、道の駅の設置者である市としての支援をしていきたい。



土産物売場(道の駅あいの土山)

瀬古 幾司
凜風会



Q 道路環境美化について予算を増額して美化に努める

Q 道路環境の美化は多くの市民の希求する課題だが、当局の認識は。

建設部長 4年度予算案で、前年比約24倍計上し、今まで以上に環境美化に努める。

Q 全国植樹祭の为一過性の予算では。

建設部長 一過性ではなく、5年度以降も維持管理に必要な予算を確保したい。

Q 老朽化している看板や標識が多く放置されているが、道路パトロールで点検しているのか。

建設部長 道路管理区域内全ての点検が必要であり、関係部局と連携して対応する。

Q 小中学校にもっと地域理解を深める取り組みが必要ではないか。

教育部長 学力一辺倒ではなく地域とともに学ぶ子どもたちを育てることも大切。コミュニティスクールや地域学校協働本部設置校を増やし、地域の歴史や文化を継承出来る環境作りを推進する。



コミュニティ・スクールと地域学校協働本部(文科省HP)

QRコードで質問の録画が見られます。

一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

北田 麗子
無所属



Q 一時預かり・土曜日保育の拡充を
A より利用しやすい制度に取り組み

Q 一時預かり保育事業の申込方法の改善を。

こ政部長 利用日の前月10日から来園にて受け付けている。今後は保護者の負担軽減を図り、電子申し込み等の検討を進めている。

Q 土曜日保育の利用率は。

こ政部長 利用の少なさから公立園では半日保育としている園もあるが、私立保育園においては全園で一日保育を実施、利用人数も最大30人程度という状況から、今後は公立園においても利用ニーズを把握した上で検討していきたい。

Q 女性の活躍・男性の育児参加の観点から一時預かり保育と土曜日保育が担うものは何か。

こ政部長 今後女性の社会参加の一層の促進、保護者の就業形態の多様化にもしっかりと応えられるよう、受け入れ枠の拡大やより利用しやすい制度の運用について検討を進め、さらなる充実に向けて取り組んでいく。



多様化する保育ニーズ

里見 淳
誠翔会



Q 史跡紫香楽宮跡整備事業について
A 発掘報告書作成の体制を強化する

Q 文化庁協議を受けてスケジュール変更となった原因である発掘報告書について現在の進捗は。

教育部長 全4冊刊行のうち、公園整備予定地を対象とした第1分冊を修正中で3割程度の進捗、令和4年度の上半期に完成。文化庁の見解は、第1分冊の原稿が完成した時点で再協議。

Q 報告書作成の体制強化は。

教育部長 3名体制から5名へと体制強化を行い、さらに令和4年度から1名増員する。

Q もっと県の協力が必要と考えるが。

教育部長 管理団体である滋賀県に引き続き人的・財政的支援を粘り強く求めていく。

Q 人身事故のあった国道307号、紫香楽宮跡駅前横断歩道への信号設置を。

市環部長 信号機設置の指針を満たす必要があり、所管する甲賀警察によると現時点では設置は難しいが、更なる交通安全対策がないか働きかける。



人身事故のあった横断歩道

中島 裕介
誠翔会



Q 甲賀市地域産業振興条例の認識は
A 地域経済の回復に向けて取り組む

Q 本条例制定までの背景は。

産経部長 本市の地域産業の振興を促し、持続的な発展につなげていくための理念等を定めた条例を平成28年7月に制定した。

Q 公共工事等どのような動きをしたか。

総務部長 本条例第13条にある発注において、市内事業者への発注機会の提供に努めることを規程。今後、可能な限り市内事業者に受注機会を提供し、地域経済の活性化に努める。

Q 今後更に積極的な条例活用が必要だと考えるがどうか。

総務部長 事業者関係団体等との懇談会・意見交換をもとに要望や評価等を伺い地域産業の推進に努める。

Q 条例活用について、市長の認識を伺う。

市長 『オール甲賀』で地域経済の回復に向けて取り組むことが重要である。



シリーズ
「あなたとつなぐ」

議会だよりのタイトル「あなたとつなぐ」をテーマに、市民の皆様の活動を広報広聴委員会で取材し、ご紹介させていただきます。

国際交流協会

多文化共生は
地域の宝!

今回は、国際交流協会を取材させていただきました。多文化共生への熱い思いをご紹介させていただきます。

●何年から活動を始められましたか。

2005年4月1日。2004年10月に5町が合併し半年後には活動を始める事が出来た。

●スタッフや共に活動されておられるのは何名ですか。

スタッフは24名。各チームのボランティアメンバーを含めると50名。

●主な活動内容を教えてください。

国際交流フェスタ（実行委員会制）
日本語学習支援事業（やさしい日本語）
災害時外国人支援・多言語支援検討事業 など多数

●活動されている中で課題と感じておられることは。

市の福祉政策を利用できていない場合が多い。ボランティアでの対応と行政や専門家との連携が必要と感じる。

●将来、どのように活動を広げて行きたいですか。

地域に多文化共生の視点を持ってもらうために、活動を地域に展開していきたい。多文化共生は外国人のためではなく地域のためになる。

●議会だよりについて感想をお聞かせください。

議員が議会だよりで情報発信して下さるのは、とても重要と感じている。いろいろなことを発信してもらいたい。



国際交流協会HP



2019年度のフェスタ。国や言葉を越えて、たくさんの方が集える国際交流イベントが一日もはやく安心して開催できるように・・・

コロナ禍以前の日本語教室の様子。このような日々の活動で「顔の見える関係」を築き災害時に声をかけ安否を確認し誰一人置き去りにしない社会をつくる一助になると考えています。



オンラインで開催したフェスタでの「世界の国からこんにちは」では、韓国、フィンランド、インドネシア、インドなど世界各地から参加していただきました。

編集後記

▶春、年度変わりとともに、新しい環境での生活になられた方も、多くいらっしゃると思います。
▶3月定例会では、その新しい生活を支える予算を中心に審査しました。年間4回の各定例会には、それぞれの性格がありますが、当初予算の審査は格別の緊張感があります。24人の議員がそれぞれの視点で審査に臨んだ過程、結果のご報告を「議会だよりに」を通じて感じただけのよう、構成を工夫しました。▶新型コロナウイルス感染症に翻弄されて早2年。それに追い打ちをかけるようなウクライナ情勢により、様々な不透明感が増していますが、日々の生活が少しでも落ち着きますよう議会の役割を果たし、お伝えしてまいります。
(広報部会 戒脇 浩)

議会の傍聴ができます。

本会議と委員会は誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は議会事務局までお問い合わせください。ネット中継もしています。

6月議会の予定

| | |
|------------------------|--------|
| 6月7日 | 9時30分～ |
| 本会議(第1日)議案上程・提案説明 | |
| 6月15日 | 9時30分～ |
| 本会議(第2日)議案審議・付託等 | |
| 6月16日 | 9時30分～ |
| 本会議(第3日)一般質問 | |
| 6月17日 | 9時30分～ |
| 本会議(第4日)一般質問 | |
| 6月20日 | 9時30分～ |
| 本会議(第5日)一般質問 | |
| 6月21日 | 9時30分～ |
| 本会議(第6日)一般質問 | |
| 6月 | |
| 22・23・24・27日 | 9時30分～ |
| 委員会 | |
| 6月30日 | 9時30分～ |
| 本会議(第7日)委員長報告・質疑・討論・採決 | |

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 6月 | | | | | | |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

カメラの



水口町春日の坊谷川沿いの桜並木に鯉のぼりが泳いでいます。10年程前から有志の皆様により地域を元気にとの考えで飾られています。今年は設置直後に風の強い日が続き、所々不揃いな部分がありますが、それでも多くの鯉のぼりが春の風を受けて元気にたなびいていました。撮影中も入れ代わり立ち代わりカメラやスマホを手にした方々が訪れていました。あの子どもたちの記憶に家族で訪れたこの日の光景がいつまでも残ってほしいものです。



(写真撮影 西田 忠委員)